教育目標 「 知性豊かに 心さわやか たくましく生きる 」

志 学校だより

R3 .6 .9

四日市市立内部中学校　第 10 号

定期テストに際して

１・２年生は５月１９日（木）２０日（金）に、３年生は５月２７日（金）に、今年度最初の定期テストとなる中間テストを実施しました。特に１年生は初めての定期テストでしたので、緊張した面持ちで解答用紙と向かい合っていました。

定期テストは、それまでの期間に学習した内容の理解度や定着状況を確認するためのものです。テスト前に集中して復習をする生徒が多く、それは当然で必要な努力ですが、本来は授業があったその日のうちに復習をして、知識や確実なものとするとともに、応用して様々な問題を解く力を高めていくことが大切です。また、定期テストの結果が学期末の成績（評定）に、ある程度関係していることも事実ですので、しっかりと取り組む必要があります。しかし、成績（評定）を判断する要素は、定期テストだけではありません。毎日の授業において、どのように学習に取り組んでいるか、すなわち「主体的に学習に取り組む態度」も重要視しています。「見通し」を持って取り組めているかも大切です。

さて、既にご存じのこととは思いますが、**昨年度から『学習評価』の方法が大きく変わりました。**新学習指導要領が施行され、これまで４観点（国語は５観点）であったものが、すべて３観点となりました。これに伴い、通知表の形式も変わりました。

旧　通知表		新　通知表
知識・理解 技能	➡	知識・技能
思考・判断	➡	思考・判断・表現
関心・意欲・態度	➡	主体的に学習に取り組む態度

３観点の内容については、以下の通りで、**３段階（ＡＢＣ）で評価します。**

■「知識・技能」について

【何を知っているか】（「文章中の原因と結果の関係が分かる」、「平行線や角の性質を理解している」など）、【何ができるか】（「電流や磁界に関する実験ができる」、「他者と合わせて歌うことができる」など）について評価しています。

●「思考・判断・表現」について

学習の中で、課題などを解決するために、知識や技能を活用して考えたり、最適な方法等を選んだり、自分の考えを友達に伝えたりする力を評価しています。

◆「主体的に学習に取り組む態度」について

単元（題材）及び授業の中で、各教科の力を身につけるための学ぶ姿などを評価しています。

学期末に、それぞれの教科において３観点で総括し、さらに評定として５段階で算出します。「特別の教科　道徳」、「総合的な学習の時間」、「特別活動」については、生徒の活動内容、学習状況や授業の中で見られた成長の様子などについて、文章記述でお伝えします。

次に、３観点評価の場面やポイントについてです。「わかった」（知識）、「できた」（技能）だけでなく、将来、社会に出ても通用する力をバランスよく身に付けることが重要となります。

■「知識・技能」のポイント

今後は、授業の中で学んだ「知識」や「技能」が違った学習場面や日常生活などで使いこなせるかということが求められます。そのため中間・期末テストでも、授業で学んだことが生きて働く力になっているかという視点で出題されることが多くなることが予想されます。

また、ペーパーテストだけでなく、実際に実験や観察をしたり、スピーチをしたりするなど活動を通して評価するなど、各教科に合わせた多様な評価場面が設定されることになります。

●「思考・判断・表現」のポイント

「思考・判断・表現」は、「知識・技能」と比べて、より広い力を評価することになります。

評価する場面としては、ペーパーテストで評価することもありますが、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現など、様々な活動から評価します。

◆「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

学習を通して、「最後まで粘り強く学んでいるか」、「自分の考えや方法をより良いものにしていこうとしているか」といったように、各教科の学習内容を身に付けるために学ぶことが大切になります。

評価する場面としては、授業の中での行動、発言の内容、ノート・レポート・振り返りの記述内容といったものから、単元を通した主体的な姿を総合的に評価することになります。

「主体的に学習に取り組む態度」については、「学び方」が重要となります。先生から教わるばかりでなく、周りの人たちと対話したりしながら共に考えたり、自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育んだり、見通しをもって粘り強く取り組んだりすること、等です。

６月１３日（月）に期末テストの発表となり、テスト期間となります。テストに向けて計画を立て、自宅での学習はもちろんのこと、『マイスタ』や『朝読』の時間もテスト勉強に有効に活用できると良いです。またテスト期間だけでなく普段から、「時間をうまく活用する」「提出物を早めに確実に終わらせる」「同じ教科ばかりに時間をかけない」等、を心がけることが大切です。そして何よりも、毎日の授業にどのような姿勢（意欲）で取り組むかが一番重要です。定期テストで良い結果が得られるようにすることも大切ですが、本来各教科の授業は、社会で生きていくために必要な「知識・技能」「思考・判断・表現」を身につけるためのものなのです。